

2008年3月7日

大阪府知事 橋下徹 様

槇尾川ダム計画の見直しについての要望書

槇尾川ダムの見直しを求める連絡会

代表 榊原鉄次

橋下知事におかれましては知事就任以来、府政の改革に日夜務められておられることに心から敬意を表します。特に財政再建への並々ならぬ決意の程は毎日のマスコミ等で私たちにも十分に伝わって参ります。全ての事業をゼロから見直し府民にとって、何が必要で何が無駄なのか、さまざまな立場の人達からの意見を聞き、議論をし、今後の府政に取り組んで頂きたいと思えます。

先般、私たちは知事選に先立ち候補者の方に槇尾川ダム計画について公開質問状を出させていただきました。それに対し橋下知事は真摯に検討し、現地も視察されることを約束していただきました。

既にご承知と思いますが、私たちが見直しを求めている槇尾川ダム計画は和泉市民が誇りと親しみを持つ西国四番札所「施福寺」がある槇尾山麓の川幅が2～3mのせせらぎに計画されているダムです。現地をご覧いただければこの地にダムが何故必要なのか大多数の方が疑問を抱かれるはずで、このダム計画はまさしく効果のないダムの典型なのです。

それを端的に示すのが、ダムが受け持つ流域面積が大津川水系の3%にすぎないことです。この狭い流域に降った雨にしか効果が無いダムで、それ以外の97%の地域に降った雨には全く効果が無いのです。これ以外にも槇尾川は掘り込み河川でほとんどの地域が川の堤防より高いか同等の位置にあります。河川が決壊し致命的な被害をもたらすような川ではありません。

このようなダムに既に投じられた約30億円を含め総額130億円の貴重な税金が費消されようとしています。計画では今年がダム本体着工の予定となっています。今引き返させることが出来なければ、この無用の長物のダムが永遠に存在し、無用だけでなく多くの環境破壊を子孫に残す事にもなります。

大雨による洪水の全てをダムや堤防の嵩上げだけで防ぐことは不可能です。このダムは100年に1回の雨に対して計画されたものですが、それなら200年に1回の雨にはどうするかの問題が新たに発生し、際限のない人工物を作り続けねばなりません。先程述べましたように幸いにも槇尾川は掘り込み河川で、堤防の決壊の危険性が小さい河川です。ダム等の構造物だけに頼ることなく、遊水池、調整地、森林整備、堤防強化等の対策を総合的に図る

一方、低地での建造物を避けることや建物を高床式にするなど、洪水と共存するソフトな対応もあわせて求められています。

私たちはこのダム計画の見直しを求め息長く活動しているグループです。既に見直しを求める2万筆以上の署名を太田前知事に提出し、更に現在も署名活動を続けています。集約でき次第橋下知事に直接お渡しさせていただきたいと思っています。

以上の状況を正しく橋下知事にお伝えしたく、以下要望します。

記

- 1、 私達槇尾川ダム見直しを求める連絡会のメンバーと話し合う時間を作って下さい。
- 2、 河川管理者だけでなく、この河川をくまなく調査いただいた今本前淀川水系流域委員会委員長の意見をお聞き下さい。
- 3、 ダム予定地を視察して下さい。

以上お忙しいことと思いますが、3月末日までに御回答をお願いします。

連絡先 槇尾川ダムの見直しを求める連絡会 代表
榊原鉄次 〒594-1135 和泉市坪井町120 (TEL/FAX 0725-92-2604)